

第Ⅱ編 水道事業における環境計画策定と進行管理の手引き

第Ⅱ編の構成は以下のとおりとなっている（図-Ⅱ-0-1）。

Ⅱ-1 現状把握に基づく課題の整理

水道事業が環境に与えている負荷と対策の現状を整理・把握した上で、課題を抽出・整理する方法について記述した。

Ⅱ-2 対策の検討

水道ビジョン、地域水道ビジョン、環境関連法令等を上位計画等と位置付け、これらの基本方針、主要施策、目標、策定年度、計画期間等を整理するとともに、環境計画において基本方針、計画期間及び対策の数値目標等を設定する方法を示した。

また、環境・エネルギー対策に係る各種対策について、水道事業者が直面する様々な課題や対策の実施状況等を勘案の上、対策候補を選定する方法を示した。

さらに、選定された対策候補について、実行可能性を評価した上で、環境計画において計画的実施を図るべき対策として位置付ける対策や今後の検討課題として位置付ける対策を選定する方法を示した。

環境計画のフォローアップについて、計画において記載すべき内容を示した。

Ⅱ-3 対策の実施

環境・エネルギー対策を着実に実施していくために必要な、関係機関との連携及び技術開発・調査研究等の成果の活用に関する事項について記述した。

Ⅱ-4 環境計画の進行管理

計画期間の途中段階における進捗管理を行うとともに、その結果を踏まえつつ計画の見直しを図る方法について記述した。

Ⅱ-5 コミュニケーション

水道事業者としての説明責任を果たし、需要者の協力を得て一体となって環境対策に取り組む観点から、需要者とのコミュニケーションを図る方法等について記述した。

Ⅱ-6 体制の確立

環境計画の進行管理を着実に進めていくために必要な、推進体制の構築及び職員への環境教育の実施について記述した。

Ⅱ-7 環境計画策定例

水道事業者において、Ⅱ-1～Ⅱ-6に基づき、情報の収集・整理を行うとともに、環境計画を策定する際の参考となるよう、環境計画の策定例を示した。

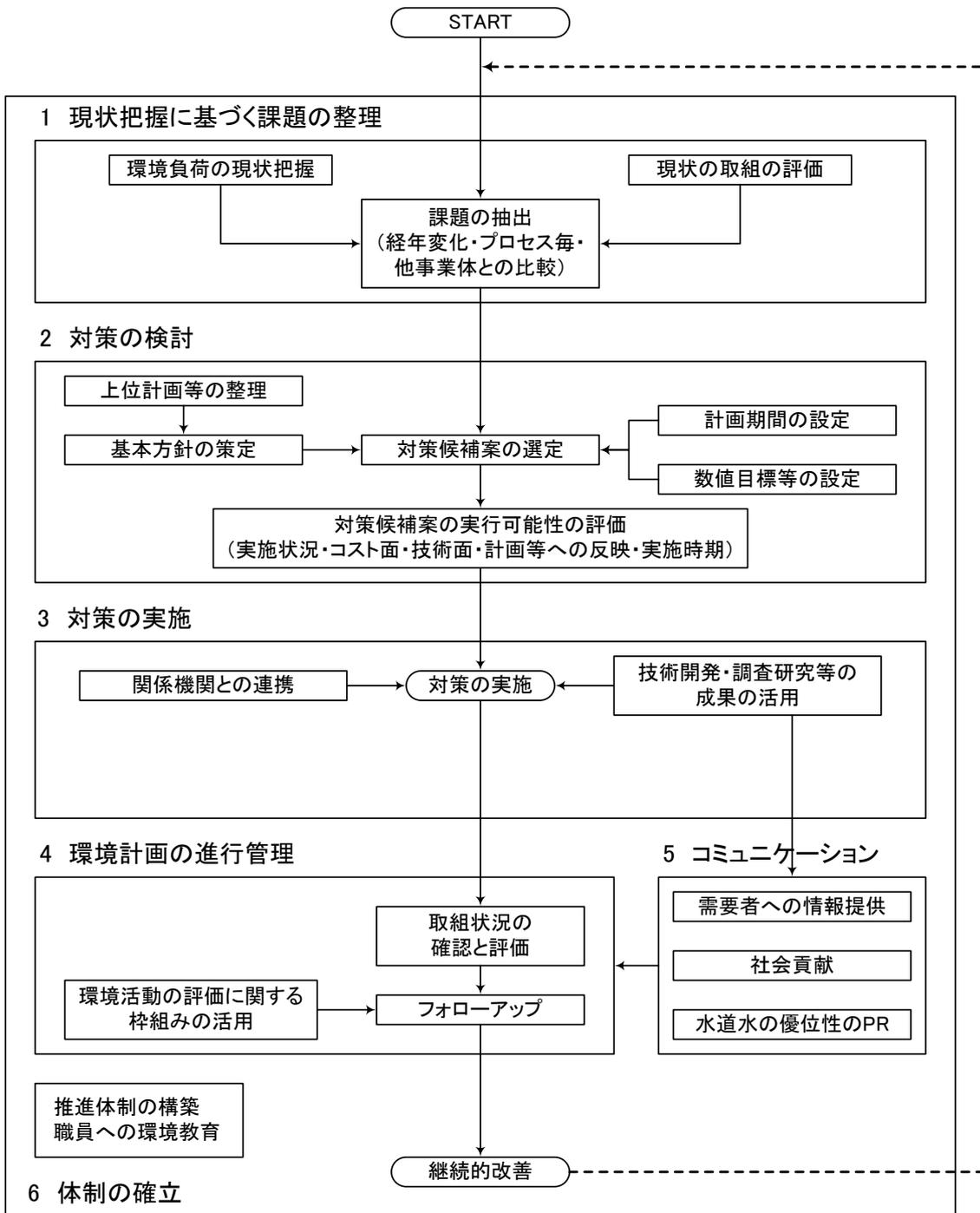


図-Ⅱ-0-1 水道事業における環境計画の策定と進行管理の手順